

インバウンドに向け 訪日教育旅行を市初受入

台湾で農業や工業を学んでいる虎尾高級農工職業学校と曾文高級農工職業学校の高校生17人が5月21、22の両日、教育旅行で市内を訪れました。

海外の教育旅行生の受け入れは、地域おこし協力隊の安食俊介隊員が県と共同で企画。21日の入村式で歓迎を受けた生徒たちは6世帯に分かれて一泊し、日本の農家の暮らしを体験しました。22日は登米総合産業高校で授業や農場を見学し、昼食時には高校生同士交流を深めました。董佳欣さんは「皆さんとても親切でした。浴衣を着せてもらうなど、台湾ではできない経験ができて楽しかったです」と感想を述べました。



農場見学では、登米総合産業高の生徒が育てている水稻育苗にローラーをかける作業を台湾の高校生も体験しました。

市民の手作り絵画展 絵画愛好者の力作を鑑賞

「第15回記念 登米市民ふれあい美術展～」(同実行委員会、登米文化振興財団主催)は4月30日から5月5日までの6日間、登米祝祭劇場で開かれ、556人が鑑賞に訪れました。

展覧は、絵画愛好者の発掘、技能の向上と交流が目的。市内外の絵画愛好者50人による水彩、油彩などの力作75作品が展示されました。山田光枝さん(74) = 仙台市 = は「どの作品もとても素晴らしかったです。米山出身なので、地元絵の才能のある人がたくさんいることを知り、うれしくなりました。芸術分野も含め、ますます発展してほしいですね」と話していました。



最終日には、電子ピアノとパーカッションによるミニコンサートも企画され、絵画と演奏の共演を楽しんでいました。

災害業務支援に感謝 世羅町長らが本市を訪問

「平成30年7月豪雨」により被害を受けた広島県世羅町の奥田正和町長一行が5月23日、市役所庁舎を訪れ、本市の支援に対してお礼を述べました。

本市は、世羅町の復興支援のため、昨年10月から本年3月まで職員2人を派遣し、災害査定業務などに従事しました。奥田町長は「現在も復旧作業を進めていますが、派遣職員の皆さんの協力は、本町職員のいい勉強につながっています。今後も発展に向けて、交流を深めていきたい」と感謝の気持ちを伝えました。熊谷盛廣市長は「復興の道半ばだと思いますが、これからもできる限りの協力をしていきたい」とエールを送りました。



本市を訪れた広島県世羅町の奥田町長と職員の皆さん。お互いの復興と発展を目指す気持ちを語り合い、交流を深めました。

農家の暮らしを学ぶ 岩沼中がファームステイ

岩沼市立岩沼中学校の2年生110人が5月9、10の両日、市内29世帯の農家に宿泊し、ファームステイを体験しました。

ファームステイは、農作業や農家の暮らしを学んでもらうことを目的に、市グリーン・ツーリズム推進協議会が実施。池田和子さん(64) = 石越町第九 = 宅には、田中涼さん、栗村美玲さん、原田結美加さんの3人が宿泊し、農作業をしたり、郷土料理のはっと汁を一緒に作ったりしながら、交流を深めました。池田さんは「地域活性化には人と人とのつながりが大切。農家体験で交流が広がるといいですね」と期待を寄せました。



初めての田植え体験に生徒は「同じ間隔で真っすぐに植えるのは難しかったけど、楽しかったです」と笑顔で話していました。

力合わせ森林づくり 津山町で少花粉スギ植樹

「『市民参加の新たな森林づくり・春』植樹祭」は5月26日、津山町柳津地内の市有林で開かれ、横山小学校みどりの少年団や一般の参加者など80人が少花粉スギ800本を植樹しました。

植樹祭は、大切な森林を次世代に残すため、平成18年度から毎年開催。植樹したスギと一緒に、誕生や結婚などを標柱にするし、思い出として残せる「私の記念植樹」に参加した橋本咲恵さん(66) = 津山町元町第二 = は「夫の古希を記念し、参加しました。毎年何かしらの記念はあるので、皆さんとの交流を楽しみに来年も参加したいです」と次の参加も楽しみにしていました。



参加者は、30度を超える気温の中、汗を流しながら一本一本丁寧に植樹しました。

思いやり学ぶ花植え 5小学校で人権の花運動

「人権の花運動」(登米人権擁護委員協議会主催、只野信子会長)が5月8から15日まで、北方、浅水、米川、中津山、横山の5小学校で実施されました。

北方小学校では、3年生28人が登米総合産業高校の生徒や人権擁護委員に植え方を教わりながら、サルビアやマリーゴールドなど160本を丁寧に植えました。参加した亀井蓮介くん = 迫町上沢 = は「どんな花が咲くのか楽しみです。いじめはみんなが嫌な気持ちになりますが、花に水をあげないのはいじめと同じなので、ちゃんとお世話をしたいと思います」と思いやりの心を持って、花を育てることを誓いました。



人権の花運動は、小学生が花をいっしょに育てることを通して思いやりの心を育て、命の大切さを学ぶことを目的に開催。